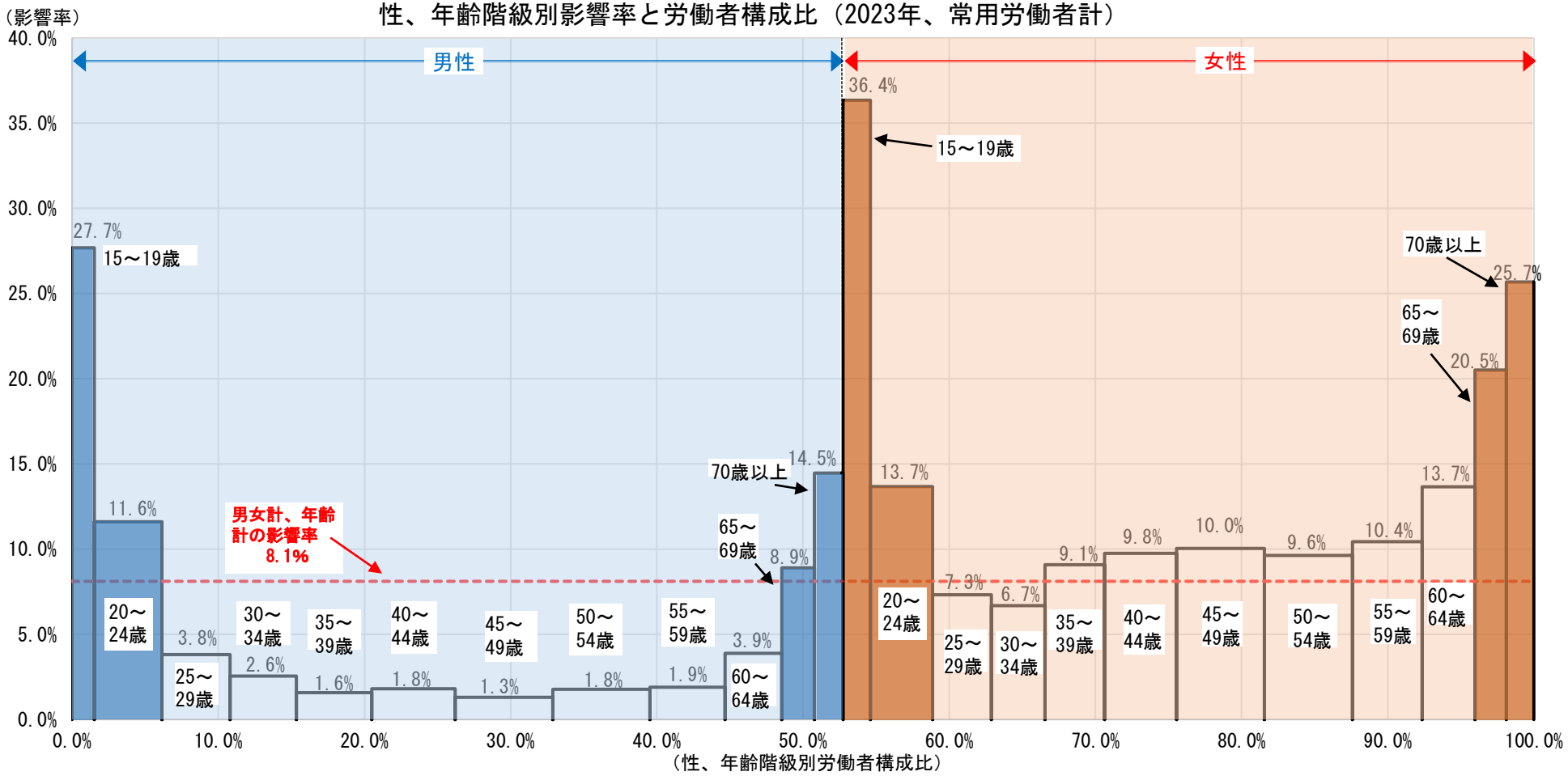
性・年齢階級別の最低賃金の影響率（2023年）

○ 男女とも若年層（特に15～19歳層）と高年齢層（特に70歳以上層）で影響率が高くなっている。
○ 影響労働者の70.8%を女性が占めており、年齢別では27.2%を24歳以下の若年者が、25.3%を60歳以上の高年齢者が占めている。



（資料出所）厚生労働省「令和５年賃金構造基本統計調査の調査票情報を厚生労働省労働基準局にて独自集計して作成。
（注）１．常用労働者数が10人以上の民営事業所及び常用労働者数が５～９人で企業全体の常用労働者数も５～９人である民営事業所の数値。
２．縦軸の「影響率」は、2023年６月の１時間当たり所定内給与額が2023年の秋より適用された最低賃金額未満である常用労働者の割合。
３．横軸の「性、年齢階級別労働者構成比」は、男女計、年齢計の常用労働者数に占める各区分の常用労働者数の比率を示している。
４．各区分の長方形の面積は、2023年６月の１時間当たり所定内給与額が2023年の秋より適用された最低賃金額未満である常用労働者のボリューム（男女計、年齢計の常用労働者に占める比率）を示している。